



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年1月30日

上場会社名 日信電子サービス株式会社
 コード番号 4713 URL <http://www.open-nes.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員業務推進統括部長
 四半期報告書提出予定日 平成25年2月7日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 山手 哲治
 (氏名) 菊地 睦夫

TEL 03-5637-2460

上場取引所 東

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	10,023	4.3	652	141.6	694	119.4	367	114.5
24年3月期第3四半期	9,607	△4.6	270	△37.4	316	△33.9	171	△63.0

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 405百万円 (124.1%) 24年3月期第3四半期 180百万円 (△61.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第3四半期	61.39	—
24年3月期第3四半期	28.62	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第3四半期	12,584	10,147	80.6
24年3月期	12,884	9,910	76.9

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 10,147百万円 24年3月期 9,910百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	10.00	—	18.00	28.00
25年3月期	—	10.00	—		
25年3月期(予想)				18.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,300	5.4	1,100	47.5	1,150	42.7	600	111.3	100.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 日信ITフィールドサービス株式会社、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P. 3「当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料P. 3「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	6,000,000 株	24年3月期	6,000,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	7,483 株	24年3月期	7,463 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	5,992,526 株	24年3月期3Q	5,992,617 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	7
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
(6) セグメント情報等	9
(7) 重要な後発事象	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要が引き続き下支えする中で、依然として不安定な情勢にある欧州や中国等の対外経済環境が、わが国の景気を下押しする大きな懸念材料となっており、先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢のもと、当社グループといたしましては、「交通サービス事業」におきましては、駅ホームドアの保守業務受注及び駅務機器の保守エリア拡大に注力する等、既存事業の拡大を図りました。また、「ITサービス事業」におきましては、今期からスタートした駐車場機器の消耗品販売を推し進める一方、同じく今期スタートした日信ITフィールドサービス株式会社は、ネットワーク事業の推進、技術力強化及びコスト削減に引き続き注力いたしました。

これらの結果、当社グループの当第3四半期連結累計期間の売上高は10,023百万円（前年同期比4.3%増）、経常利益は694百万円（前年同期比119.4%増）、四半期純利益は367百万円（前年同期比114.5%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間の概況をセグメント別に申し上げますと次のとおりであります。

「交通サービス事業」

AFC分野は、スポット保守及び納入設置業務が減少したものの、保守エリア拡大等による契約獲得が功を奏し売上は増加いたしました。また、交通システム分野は、事故復旧工事で見込み減となりましたが、新設改修工事や調査解析等の積極的な案件受注により、鉄道信号分野は、新設改修工事の受注拡大に取り組んだことにより、ともに好調に推移いたしました。

なお、各分野ともに工事案件を対象に外注業務の内製化等を積極的に行い、収益向上を図りました。

これらの結果、当セグメントの売上高は4,138百万円（前年同期比8.2%増）となり、セグメント利益は860百万円（前年同期比35.3%増）となりました。

「ITサービス事業」

駐車場機器分野は、保守サービスに若干の減少が見られたものの、消耗品販売が売上拡大に寄与し、堅調に推移いたしました。一方、医療機器分野は保守契約及びスポット保守が伸び悩み、また、OA機器分野は、ネットワーク関連事業で伸張が見られたものの、ハードを対象とした保守サービスが減少したことにより、ともに低調に推移いたしました。

これらの結果、当セグメントの売上高は5,884百万円（前年同期比1.8%増）となりましたが、セグメント利益は、今期のOA機器事業の分社化に伴い、調整額のうち当該事業に係わる費用を当セグメントに配分したこと等により、308百万円（前年同期比5.5%減）となりました。

なお、セグメント利益の調整額は△516百万円（前年同期△692百万円）となりました。これは、各セグメントに配分されていない全社費用であります。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は、現金及び預金、預け金の減少等により、前連結会計年度末に比べ300百万円減少し、12,584百万円となりました。

負債合計は、買掛金及び賞与引当金等の減少により、前連結会計年度末に比べ537百万円減少し、2,436百万円となりました。

純資産合計は、利益剰余金等の増加により、前連結会計年度末に比べ237百万円増加し、10,147百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、売上債権の増加及び特別退職金の支払額等により前連結会計年度末に比べ265百万円減少し、1,729百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における営業活動の結果使用した資金は、529百万円となりました。

これは主に、売上債権の増加及び仕入債務の減少、特別退職金の支払額等によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における投資活動の結果得られた資金は、431百万円となりました。

これは主に、預け金の回収等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第3四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は、167百万円となりました。
これは主に、配当金の支払によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の通期業績予想につきましては、平成24年5月11日発表の業績予想に対して、以下のとおり修正いたします。これは主に交通サービス事業で当初見込んでおりましたAFC分野の工事案件等の減少、並びにITサービス事業の駐車場分野における消耗品販売の減少及びOA機器分野によるハードを対象とした保守サービスの減少によるものであります。一方、利益面につきましては、外注費の内製化及び経費等の削減等によりまして、当初の水準は確保できる見込みであります。

なお、配当予想につきましては、平成24年5月11日発表から変更はありません。

わが国経済は、政権交代による経済政策への期待感から、景気の一部改善の兆しが見られるものの、依然不透明な状態が続くものと予想されます。

当社グループにおきましては、引き続き既存事業の拡大及び業務品質の向上を図ることにより、業績の向上に努めてまいります。

平成25年3月期連結業績予想の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 15,500	百万円 1,100	百万円 1,150	百万円 600	円 銭 100.12
今回修正予想 (B)	14,300	1,100	1,150	600	100.12
増減額 (B-A)	△1,200	—	—	—	—
増減率 (%)	△7.7	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	13,572	746	806	284	47.50

(ご参考) 平成25年3月期個別業績予想の修正（平成24年4月1日～平成25年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 11,200	百万円 1,100	百万円 600	円 銭 100.12
今回修正予想 (B)	10,800	1,250	700	116.81
増減額 (B-A)	△400	150	100	—
増減率 (%)	△3.6	13.6	16.7	—
(ご参考) 前期実績 (平成24年3月期)	13,334	793	276	46.08

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、日信ITフィールドサービス株式会社を連結の範囲に含めております。
これは、当社を分割会社とし、当該会社を承継会社とする新設分割（簡易新設分割）によるものであります。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。なお、法人税等調整額は法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(減価償却方法の変更)

当社及び連結子会社は、法人税の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

この変更による損益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,994,959	1,729,407
受取手形及び売掛金	3,707,392	3,983,446
商品	17,591	22,196
貯蔵品	437,463	488,026
繰延税金資産	354,374	416,834
預け金	3,600,000	3,050,000
その他	146,372	174,274
貸倒引当金	△73	△78
流動資産合計	10,258,080	9,864,106
固定資産		
有形固定資産	729,661	722,540
無形固定資産	211,532	165,143
投資その他の資産		
投資有価証券	330,047	387,930
その他	1,359,154	1,449,285
貸倒引当金	△3,820	△4,763
投資その他の資産合計	1,685,382	1,832,453
固定資産合計	2,626,576	2,720,137
資産合計	12,884,656	12,584,243
負債の部		
流動負債		
買掛金	760,252	613,497
未払法人税等	250,883	259,667
前受金	132,004	151,209
賞与引当金	681,177	398,603
役員賞与引当金	23,000	24,149
その他	770,998	617,044
流動負債合計	2,618,316	2,064,171
固定負債		
繰延税金負債	343,368	363,974
退職給付引当金	4,151	4,617
その他	8,412	3,732
固定負債合計	355,931	372,324
負債合計	2,974,248	2,436,495

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	833,200	833,200
資本剰余金	727,800	727,800
利益剰余金	8,332,242	8,532,323
自己株式	△8,239	△8,257
株主資本合計	9,885,002	10,085,065
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,405	62,682
その他の包括利益累計額合計	25,405	62,682
純資産合計	9,910,408	10,147,747
負債純資産合計	12,884,656	12,584,243

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	9,607,776	10,023,464
売上原価	8,602,998	8,601,004
売上総利益	1,004,777	1,422,460
販売費及び一般管理費	734,680	769,822
営業利益	270,096	652,638
営業外収益		
受取利息	12,760	9,558
受取配当金	7,957	7,844
不動産賃貸料	1,883	1,882
保険配当金	19,890	19,522
その他	5,754	4,912
営業外収益合計	48,246	43,718
営業外費用		
不動産賃貸費用	1,679	1,679
その他	49	7
営業外費用合計	1,728	1,686
経常利益	316,614	694,670
特別利益		
固定資産売却益	0	—
適格退職年金終了益	19,313	—
特別利益合計	19,313	—
特別損失		
固定資産売却損	—	51
固定資産除却損	679	8,522
ゴルフ会員権評価損	—	7,471
特別損失合計	679	16,045
税金等調整前四半期純利益	335,248	678,624
法人税等	163,730	310,752
少数株主損益調整前四半期純利益	171,518	367,871
四半期純利益	171,518	367,871
少数株主損益調整前四半期純利益	171,518	367,871
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,283	37,276
その他の包括利益合計	9,283	37,276
四半期包括利益	180,802	405,148
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	180,802	405,148

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	335,248	678,624
減価償却費	128,090	110,495
のれん償却額	9,803	9,803
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△215	948
賞与引当金の増減額(△は減少)	△355,042	△282,574
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△1,500	1,149
退職給付引当金の増減額(△は減少)	2,479	465
前払年金費用の増減額(△は増加)	18,258	△66,913
適格退職年金終了益	△19,313	—
ゴルフ会員権評価損	—	7,471
受取利息及び受取配当金	△20,717	△17,402
売上債権の増減額(△は増加)	956,857	△257,792
たな卸資産の増減額(△は増加)	△61,320	△55,168
仕入債務の増減額(△は減少)	△212,615	△158,314
その他	12,979	122,907
小計	792,992	93,700
利息及び配当金の受取額	20,717	17,402
特別退職金の支払額	△145,487	△267,552
法人税等の支払額	△358,066	△373,277
営業活動によるキャッシュ・フロー	310,155	△529,727
投資活動によるキャッシュ・フロー		
預け金の増減額(△は増加)	—	550,000
有形固定資産の取得による支出	△29,455	△56,077
無形固定資産の取得による支出	△33,893	△33,460
その他	21,294	△29,077
投資活動によるキャッシュ・フロー	△42,054	431,385
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△249	△17
配当金の支払額	△167,233	△167,191
財務活動によるキャッシュ・フロー	△167,482	△167,209
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	100,617	△265,552
現金及び現金同等物の期首残高	1,623,351	1,994,959
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,723,969	1,729,407

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) セグメント情報等

[セグメント情報]

I 前第3四半期連結累計期間（自平成23年4月1日 至平成23年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注2)
	交通サービス 事業	I Tサービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	3,826,167	5,781,608	9,607,776	—	9,607,776
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,826,167	5,781,608	9,607,776	—	9,607,776
セグメント利益（営業利益）	636,305	326,339	962,644	△692,548	270,096

(注) 1. セグメント利益の調整額△692,548千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの、固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

のれんの償却額及び未償却残高

(単位：千円)

	交通サービス事業	I Tサービス事業	全社	合計
当第3四半期連結累計期間 償却額	—	9,803	—	9,803
当第3四半期会計期間末 残高	—	35,946	—	35,946

II 当第3四半期連結累計期間（自平成24年4月1日 至平成24年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益及び包括 利益計算書 計上額 (注2)
	交通サービス 事業	I Tサービス 事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	4,138,738	5,884,726	10,023,464	—	10,023,464
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	4,138,738	5,884,726	10,023,464	—	10,023,464
セグメント利益（営業利益）	860,736	308,465	1,169,202	△516,563	652,638

(注) 1. セグメント利益の調整額△516,563千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。

全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの、固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

のれんの償却額及び未償却残高

(単位：千円)

	交通サービス事業	I Tサービス事業	全社	合計
当第3四半期連結累計期間 償却額	—	9,803	—	9,803
当第3四半期会計期間末 残高	—	22,875	—	22,875

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。